

実験実習で生じた試料等の研究への利活用に関する情報公開

(人を対象とする生命科学・医学研究に関する倫理指針第 8-6①-④に該当)

【タイトル：日本人女子大生の食事摂取後尿中コラーゲン由来ペプチド量に関する研究】

#### ①試料およびデータの利用目的及び利用方法

コラーゲン酵素分解物の摂取は褥瘡症状の改善や膝関節痛を緩和させることが実証されている。これは血中に増加するコラーゲン由来ペプチドが生理機能をもつことが関与していると考えられている。肉や魚の摂取でも血中コラーゲン由来ペプチドが増加することを本研究責任者の浅井は明らかとしてるが、普段の食生活の中で血中コラーゲン由来ペプチド量の増加を確認した例はない。コラーゲン由来ペプチド量は血中と尿中で比較的高い相関があると報告されている。本研究では、主食や汁物などと組み合わせて食事由来コラーゲンを摂取した場合の生体（血中）へ吸収されるコラーゲン由来ペプチドの基礎的知見を得ることを目的とし、日本人女子大学生の普段の食事を秤量食記録法により調査した結果および食事摂取頻度調査結果と、24 時間蓄尿法により採取した尿中コラーゲン由来ペプチド濃度との関連性を検討する。

#### ②利用する試料およびデータの項目

- 24 時間蓄尿による尿試料
- 尿中物質測定値
- 秤量法による食事調査データ
- 食物摂取頻度調査データ
- 身体情報（身長、体重）

#### ③利用する者の範囲

食物栄養学科所属教員

#### ④本研究における試料およびデータについて責任を有する者の所属および氏名、連絡先

所属：食物栄養学科・助教

氏名：浅井智子

連絡先：[asai@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:asai@cc.nara-wu.ac.jp) (0742-20-3453)